



大砂土中だより

はつ らつ
澁 刺 と



さいたま市立大砂土中学校

048-684-8004

<http://osato-j.saitama-city.ed.jp>

No.7 令和6年11月1日号

「汗」と「襷」と「ハーモニー」そして「心の絆」

校長 倉林 弥生

周りの木々から少しずつ葉が舞い落ち、気温もすっかり秋らしくなりました。10月もあっという間に終わり、いよいよ今日から11月が始まります。そして暦の上では、間もなく立冬を迎えます。

10月は、新人体育大会をはじめ、駅伝競走大会や合唱コンクールなどの行事があり、校内は、皆さんの元気な声が一日中響き渡り、活気に満ちていました。

9月末頃から本格的に始まった新人体育大会では、夏の猛暑の中、心底夢中になり、汗水流して頑張ってきた練習の成果を発揮することができた部活動が多く見られました。接戦の中、惜しくも敗退となってしまった部活動もありましたが、今後の成長が楽しみな結果であったと思います。

さらなる活躍を期待しています。

そのような中、団体戦では、男子バレーボール部、野球部、柔道部、女子卓球部が県大会の出場を勝ち取りました。

また個人戦でも、多くの生徒が県大会出場を決めています。

県大会に出場する生徒の皆さんが、校訓「澁刺と」が示すように、大砂土中学校の生徒らしく、元気いっぱいに一層輝きを放ち、頑張りを発揮できることを願っています。

10月22日(火)、爽やかな秋空の下、第24回市中学校駅伝競走大会が荒川総合運動公園にて行われました。結果は、男子25位、女子40位と昨年度よりも大幅に順位を上げ、大健闘でした。

私も会場に出向き、目の前を走り抜く大砂土中の代表選手の一人ひとりの真剣な表情を見てみると、自然と大きな声を出して応援している自分がいました。(届いていたでしょうか?) その表情からは、苦しい中でも、「仲間にいち早く襷をつなぎたい」という心のつながりを強く感じました。

そして、大砂土中の選手全員の思いを乗せた「心の襷」は、選手から選手へとしっかりと渡されていきました。また、今回の大砂土中の駅伝選手選考について私が嬉しかったことは、生徒の皆さんが、全員自ら立候補して決まったということです。苦しい練習が予想できたにも関わらず、立候補したその勇氣に感動しました。

10月29日(火)、久喜総合文化会館の立派な大ホールにて、合唱コンクールが開催されました。コンクール前日まで校内は、音楽の授業中も休み時間も放課後も、生徒の皆さんの歌声であふれていました。その声の響きが、聞いている私にはたいへん心地のよいものを感じました。

私は、「合唱は『心のハーモニー』です」と、当日の開会式で皆さんに話をしました。歌を歌う皆さん一人ひとりの歌への思いが一つになった時、聞いている人たちに言葉では言い表せない感動を与えるのです。今回の合唱コンクールでは、全学級の皆さんの「心のハーモニー」が、私を含め、会場で合唱を聞いていた全ての人に届いていたことを確信しています。身を奮い立たせ、その歌詞を理解し、自分たちの歌に思いをのせて仲間と歌った時間、そして感動をずっと覚えてほしいと思います。

人は多くの事に挑戦し、たくさんの感情を抱きながら成長してきます。皆さんが頑張れるのは、多くの人とのつながり、つまり「心の絆」があるからです。これからも大切にしてください。

保護者の皆様並びに地域の皆様には、日頃から学校への御理解と御協力に感謝申し上げます。引き続き、生徒への支援、そして温かい見守りをお願いいたします。



10月最終日 突き抜ける秋空 本校校庭より撮影